



西念寺だより 師走号



平成30年12月20日

〒610-0331 京田辺市田辺北里29番地

TEL 0774-62-1027 0774-63-2912

今年も残り僅かとなりました

—これまでの御協力厚く御礼申し上げます—

ゆく年の惜しくもあるかなます鏡みる影さへにくれぬと思へば
紀貫之（古今和歌集）

12月に入っても夏日を記録するなど、当初は暖かい日が続いていましたが、最近はずっかり寒さも厳しくなり、そろそろ「冬将軍」といった言葉も耳にするようになります。そのような気候の中で、一年の締めくくりと新年を迎える準備をしていると、終わりゆく年にふと寂しさを感じます。各地で雪の便りが届き、街はイルミネーションで煌めくこの季節、クリスマスを中心に楽しいイベントが盛りだくさんですが、その一方ではらはらと降る雪を眺めながら、その美しさに心を動かされたり、孤独を嘆いてみたり・・・。



ゆく年が惜しくも感じられ、澄んだ鏡で見る自分の姿さえ暮れてゆくと思えるからと、いつの時代も変わらない心の動きであり、古来より人々はそんな想いを歌にのせて表現してきたのだと改めて実感します。

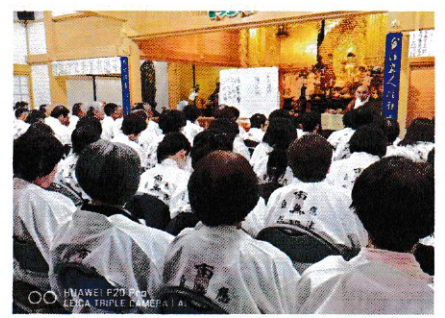
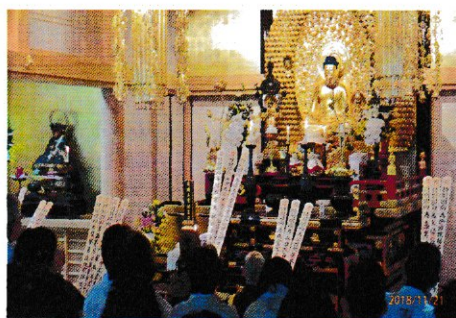
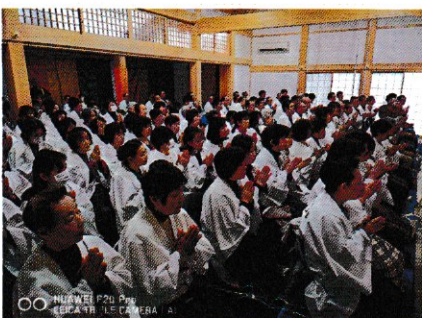
さて、平成7年以来、23年ぶりに開筵致しました五重相傳會も受者をはじめ、回向の御寄進など檀信徒各位の御協力により二利円満の内に成満させていただくことができ、厚くお礼申し上げます。最終日、受者の皆様に感想を御記入いただく葉書をお配りさせていただきましたが、返送いただいた方からは「今回の五重相傳を受けて良かった。」というお言葉を多数いただいております、誠にありがたく心より感謝申し上げます。

今回の五重相傳では、これまでの伝統を踏まえつつも、随所に新しい企画を取り入れ、各儀式の設えや作法、具体的で分かりやすく再構成いただいた勸誡や教授師様の説明、伝書の全面的な見直し等のソフト面ばかりでなく、ハード面に関しても考えつくことはすべて準備してきたことが受者の皆様に受け入れて頂けたのではないかと考えています。また各役員様には、五重全期間にわたり寒い中献身的に御世話いただき、円滑な運営に寄与していただきました。

28年の本堂落慶、29年の輪番御忌、そして今回の五重相傳會の開筵と、この3年間はおそらく当山西念寺の歴史の中でも例を見ないほどの大法要大行事の連続でしたが、檀信徒各位の絶大な御協力により、すべて大過なく成功裡に終わらせていただくことができました。心より厚く御礼申し上げます。

今後は残された山門や観音堂の修復等に邁進して参りたいと存じます。何卒引き続きの御指導御鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

合 掌



【お十夜法要、厳修致しました】

11月3日(土)午後2時半より、定例の写経会に引き続いてお十夜法要を行いました。

最初に全員でお勤めを行い、別時念仏では照明を落とした暗闇の中、参加者全員で一糸乱れず木魚を打っていただき、「南無阿弥陀仏」とお念仏をちょうど一千回、ただひたすらにお唱えいただきました。

また、下記の方々より御回向を賜りました。誠にありがとうございました。

西川ヒサ子	大崎 勲	北川 昌弘	橋本 均	北川 晴雄	北川 雄介
大崎 三郎	北川 清隆	北川 仁朗	橋本 幸昭	太田 敏之	荒木 忍
北川 昌昭	田邊 昭喜	西川 明裕	中野 儀博	橋本 喜久	村田 三春
西川 實	下村 喜朗	田中 孝明	吉田 勲	下村 新一	中村ふたみ
上村 勉	西川 秀司	西川 リエ			(敬称略 順不同)



【佛教婦人会秋のレクレーションから】

今月5日、佛教婦人会主催による秋のレクレーションが、多くの参加者を得て行われました。今年は五重相傳の関係で12月の実施になりましたが、暖かい好天に恵まれ無事に終了することができました。まだまだ紅葉が美しい金閣寺では、極楽浄土をこの世にあらわしたと言われる庭園や建築に華やかな北山文化を存分に満喫いただき、嵐山ではゆったりとしたレストランで美味しいお食事を堪能いただきました。午後からは嵐山高雄パークウェイを駆け抜け沿道の紅葉を楽しみながら、途中保津峡やトロッコ列車が一望できるビュースポットでは眼下に広がる大パノラマをご覧いただきました。最後に五重相傳でも御世話になりました大田信弘上人の十方山為因寺に立ち寄らせていただき、閑静な本堂で念仏法要を行い、御法話も拝聴しました。

佛教婦人会員様以外の方や壇信徒以外の方々をはじめ、下村新一様や橋本種継様にも参加いただき、皆様の御協力で、無事に楽しく有意義な一日を過ごすことが出来ました。

これからも是非多くの皆様に御参加いただきますよう、宜しくお願い申し上げます。



【永代祠堂料御寄進のお知らせ】

今回は奥治彦様より、御母堂様の一周忌法要に先立ち、永代祠堂の御寄進をいただきました。誠にありがとうございました。

・永代祠堂料 金50万円 為 清念院説嘗探玄由信大姉 (故 奥 由子 様)
施主 奥 治 彦 様

【院号料御寄進のお知らせ】

今回は北川仁一郎様より五重相傳会の結縁を機に、また西川和弘様より西川トシエ様の御逝去に際し、院号(什器什物)料の御寄進いただきました。誠に有り難うございました。

・院号(什器什物)料 金70万円 為 杏林院往嘗智戒昌仁居士 (北川 仁一郎 様)
為 智徳院勤嘗常安富信大姉 (北川 富士子 様)
施主 北川 仁一郎 様

・院号(什器什物)料 金35万円 為 浄心院願嘗誓光壽信大姉 (故 西川 トシエ 様)
施主 西川 和弘 様